

津波避難計画作成・災害時要援護者対策モデル事業説明会の様子

平成25年5月29日（木）

三重県津庁舎6階会議室

津波避難計画作成・災害時要援護者対策モデル事業説明会を開催し、自主防災会・自治会のリーダー、みえ防災コーディネーターなど70名の方々に御参加をいただきました。

冒頭、前葉市長から「より地域の実情に合った防災を考えていくために、皆さんと一緒に計画を作り、他の地域に広げてこうと考えています。皆さんの取り組みが、津市の、津波から身を守るという流れにつながることを期待しています。」と挨拶がありました。



続いて、三重大学大学院工学研究科の川口淳准教授から「南海トラフ巨大地震にそなえる」と題した研修が行われ、専門家ならではのデータに基づく説明、中央防災会議の南海トラフ巨大地震対策の最終報告にも触れ、「過去の教訓を三重で生かすには住宅の耐震化と津波避難計画作成による避難体制の整備が必要です」など説明があり、出席者は熱心に聞き入っていました。



そのあと、事務局から今後の事業の進め方や各地区の担当者の紹介がありました。

